

弘重豊和秀昭光鶴
光寿輝雅憲義千
部沢森津々本藤田
安米松是佐中遠藤
士一晃博男子二春
昌陽信一和十茂
野宮田村部田田
小高福池藤安吉石

総括質疑

補正予算案・条例に16名の議員が質疑を!

町税

Q 買戻 当初から欠損金(3%)計上したのは。
A 回答 予算精度を高めるために。
Q 徴収に努力すべきだ。
A 訪問記録をつけ年間を通し徴収にあたる。

財産収入

Q 立木売却収入300万円。場所と面積は。
A 隠岐の島町卯敷6番地。松林面積2.92ha。林齢77年。

防犯灯設置管理

Q 地区負担状況は。
A 箇所は中電と合同で調査中。負担は合併時に統一していないので、現状把握後平等性に努めたい。

新エネルギー事業

Q 新エネルギー導入事業とは。
A 木質バイオマスの事業化も検討する。

地域振興事業

Q 合併時年四回の開催と決定していた地域協議会を2回とした理由は。
A 実績により2回と減らした。必要があり開催したら補正にて対応する。

廃止代替バス路線運行費補助金

Q 廃止代替バス路線運行費補助金が4663万円ある。平成十一年から7年間で路線バスの収益が1819万円減り、費用が830万円増え、補助金が2650万円増えている。隠岐一畑交通の経営努力はいかに。
A 利用者数減が一番の原因だ。昨年には給与の一部カット、役員報酬を本社で支給するなどの報告があった。また、停留所を社員が掃除するなど快く利用できるような努力している。

運行機材、タイヤ、民間委託など交通弱者の視点で見直すべきだ。

松くい虫被害対策防除事業

Q 寺、神社の松対象に、樹幹注入事業が加えられるが地元負担は。
A 二分の一である。



松の樹幹注入

辺地総合整備計画

Q 旧西郷町辺地五カ年計画だが、合併して三年近い、計画年数を調整し旧村と一本化すべきだ。
A 考えたが、国の指導もあり今回は見送った。

社会福祉施設設置運営費

Q 温泉GOKAの経営改善に向けての取り組みは。

他の福祉施設等でも有効に活用しよう努める。

Q 毎年、1000万円以上の一般財源を投入して運営している。売却も含め考えるべきだ。
A 行革の中で二十一年から休館も含め検討をする。

公共用水域浄化対策

Q この事業とは。
A 水質汚濁状況把握のため、西郷湾・加茂湾・八尾川・宇屋川で年一回検査を実施。魚が住むまで回復している。



水質が回復した西郷港

地域支援事業費

Q サロン化育成事業を進める上での地域との連携の考え方は。
A サポーター養成講座を開くなど地域との連携を強化する。

隠岐共生学園第一保育所建設事業(平地区)

Q 助成の根拠を示せ。
A 児童保育は、公立私立にかかわらず町の責任と考える。

保育も幼児教育も子供達を育てる意味で同じ認識で支援すべきだ。

Q 福祉と教育で制度は違いますが部分改築については自己負担となる。
A 土地補助の財源は、辺地債を充てる。

辺地債が他の事業に影響することはないか。

今のところは無い。

Q 土地購入費に対し補助基準を定めて補助すべきだと考えるが。
A 旧西郷町の事例を参考にしたが、今後は補助金交付要綱を定める。

民生費

Q 何世帯の方が生活保護を受けているのか。
A 現在79世帯。
Q 生活保護の基準は。全国基準と同じ。

生活習慣病対策事業

Q 各検診の周知方法は。回覧、放送、個人通知などである。
Q 乳がん検診のあり方の改正は。
A 時間・年齢等検討していきたい。

隠岐病院での検診は考えていないのか。

Q 検討する必要があると考えている。

水産振興費

Q いわがきのトップブランド化の方策は。
A 販路の拡大を狙いに各種イベントに積極的に参加する。

漁業再生支援事業

Q 漁場環境は厳しい状況だ。漁業集落離島交付金の配分、使途の状況は。
A 漁場の生産力向上に資する為、アワビ放流、海苔摘み場整備等に現在使っている。地域(集落)32地区、626構成員に対し、1人当たり36万6千円が、5年間交付され半分を全体の事業に、半分を地区での考え方で対応している。



隠岐の特産・ワカメ

廃棄物処理及び清掃条例

Q 処理券による委託方式から許可方式へ変更となるが違いは。
A 住民の利便性と経費節減を目的とし、業者に、券でなく直接現金を払う制度とした。

名田地区環境整備費

Q 以前当地区にゴミ焼却場及び不燃物処理場、火葬場があった為、迷惑料として60万円が支払われていたが、その後道路も整備され、両ゴミ処理場は移転し、火葬場も整備したので、現状では悪影響はないと思う。迷

文化財保護費

Q 隠岐郷土館の展示物の見直し等を図り、利用促進に努めるべきである。
A 展示物の内容を研究しながら、利用促進を図る。



改修中の隠岐郷土館

感料の支払いは廃止するべきだ。

Q 年々減額するように交渉する。



整備された斎場

Q 県営中山間地域整備事業費1,900万円の実施場所は。
A 用水路・上里、伊後、郡。

排水路・代、神谷。農道・真杉、神谷。溜池・池田、飯美谷。暗渠排水・皆市、上里。集落道調査・有木、上那久。

鳥獣保護及び有害鳥獣駆除事業

Q 自然生息のコウノトリは小さな島で大きな発見だ。その対策は。



Q つがい対策にあずまやと餌の確保、ローソク島観光と共にピーアールする。

リサイクルセンター管理運営費

Q リサイクルセンターの200万円の契約は。
A 平成十一年から50年間契約で、5カ年更新だ。

土地はすべて有効利用しているか。

A 一部が利用されていない。

財政状況を鑑み土地利用料金の減額交渉をすべし。

Q 隠岐が大好きサッチャン

特定分収造林事業償還状況は。

Q 特定分収造林の解約償還状況は。
A 対象人員、353名。償還総額「3億3250万円。期限平成二十七年まで。

消防格納庫の維持管理が、地区によつて違いがあるのではないか。

Q 従来のままで、町が格納庫の所有、管理をしているところもあれば、五箇地区のように地区所有・地区管理のところもある。中には、いまだに建設費を支払っている地区もあり、現状を調査し、町としては統一的な考えでいくべきと考えている。

高度へき地修学旅行費

Q 助成の対象外の学校についても、不公平は正の観点から何かの助成をすべきではないのか。
A 教育委員会、財政課とも相談してから何らかの助成が出来ないか検討する。